

神奈川歯科大学・被災者支援プロジェクト

～ 第3回 本格支援までの情報収集および現地視察等・陸前高田市 ～

報告者：土肥雅彦（口腔外科）

【日 程】

平成23年6月23日～6月26日

【参加者】3名（23～25 土肥、24～26 竹越、濱田）

土肥雅彦（歯科医師・附属病院 口腔外科、KDC-SAS）

竹越史子（歯科医師・附属病院 小児歯科 KDC-SAS）

濱田順子（歯科衛生士・KDC-SAS）

【活動内容】陸前高田吉田歯科医院への支援と被災地の被害復興状況の視察

- 陸前高田 吉田歯科医院支援
- 陸前高田被災地の状況を視察
- 気仙沼、大船渡の被災地の状況を視察
- 陸前高田高田第一中学校避難所 日本赤十字医療支援隊訪問

《 第1日目：6/23 》

梅雨前線に南からの暖かい空気が流れ込んだ影響で大気が不安定となり東北地方では激しい雨となった。また、午前6時51分岩手県沖でマグニチュード6.7の大きな地震があり、東北本線など在来線は大幅にダイヤが乱れた。幸い新幹線は無事で午前8時12分東京発の東北新幹線はやてにて午前11時に一ノ関に到着し、レンタカーで国道243号線を東にまず気仙沼に向かった。多くの自衛隊車両、警察車両とすれ違った。気仙沼に入ると、がれきの撤去はまだ殆んど手付かずの状況で無残にも大型船が2隻打ちあげられたままになっていた。魚介類の加工工場が多く被災し、周囲は腐敗臭がひどかった。被災した歯科医院が1件再開していた。そこから陸前高田までの海沿いの道である国道45号線は通行止めになっており、山を越えて陸前高田へ入った。カーナビに吉田歯科医院の電話番号を打ち込み到着した目的地は広い被災地のほぼ中央であった。大雨と地盤沈下で道が随所で浸水していた。

次に大船渡へと向かった。大船渡も全くがれきの撤去はすすんでいない状況であった。ここもやはり魚の腐敗臭が強かった。夕方吉田先生の仮設診療所に到着した。ここは陸前高田で最大の避難所である高田第一中学校のすぐ近くにあり、個人の診療所ではあるが、被災者の歯科救済施設となっていた。少し高台にある内科医の敷地には駐車スペースを囲むように内科、歯科、薬局、文具店、大型スーパーのプレハブ仮設店舗が軒を連ねていた。



その晩宿泊する鈴木旅館へと向かった。鈴木旅館は気仙川を少し上流へ行ったところにあり、ぎりぎり津波の被害から免れていた。素泊まりのその旅館は多くのボランティア達で賑わっていた。その夜は高台で津波被害から免れた吉田先生宅で夕食をともにした。陸前高田ではまだ肉や魚などが手に入らない状況で、横須賀からクーラーボックスで持参した肉や魚類でお食事を作ってくださいました。その晩は3月11日のことや、ご近所への支援物資の配給のお話を伺ったり、吉田先生の趣味の自転車の話など夜遅くまでお話をした。夜11時46分地震があった。



《 第2日目：6/24 》

旅館を午前7時に出発して、吉田先生宅へ向かった。朝ボランティアの車が被災地に入るため道は渋滞していた。信号は復旧しておらず、京都府警の警察官が交通整理をしていた。吉田先生宅で朝食を食べ、仮診療室へ向かった。ご自宅と仮診療室はすぐ近くであった。その日は、吉田先生のご配慮で歯根端切除術の患者さんと呼んで下さっていた。陸前高田は災害救助法適用地域であり被災者は平成24年2月まで窓口での一時負担金の支払いが免除されている。患者さんの多くが被災者の方々であり初診の患者さんが多かった。



その日、午後8時頃バスで竹越史子先生と濱田順子さんが到着し、吉田先生宅で夕食を共にした。その夜は3人とも吉田先生のご自宅に宿泊させて頂いた。



《 第3日目：6/25 》

午前中診療。吉田先生はこの日はご用事があったものの、午前中のかなりの時間診療室にいらっしゃって下さった。濱田さんは受付業務、竹越先生は入り口近くのユニット、土肥は奥のユニットで診療した。竹越先生がお子様などを含む半分、土肥は初診で来院した下唇粘液嚢胞摘出や下顎が腫れて来院した埋伏智歯抜歯などを含む半分を担当した。患者さんは午前中で



20名であった。

午後は吉田先生の奥様に広田半島が一望できる箱根山展望台や、被災した陸前高田をご案内して頂いた。

土肥は夕方、高田第一中学校避難所の日本赤十字社医療支援所を訪問し、国道343号線で一ノ関へ行き、19時01分発のやまびこで東京へ向かった。竹越先生、濱田さんは吉田先生の奥様と吉田先生のご自宅で女性だけで夕飯を食べ、そこに宿泊した。



(高田第一中学校避難所と日本赤十字社救護所)



《 第4日目：6/26 》午前中、竹越先生、濱田さんは診療。

午後、バスで、一ノ関へ向かい、東北新幹線で帰宅した。

【6月30日現在の被災状況】

死者数： 15,544人

行方不明者数： 5,383人

避難者数 公民館や学校： 24,182人

旅館・ホテル： 25,273人

親族・知人宅： 19,361人

仮設住宅・病院： 30,420人

がれき6割手付かずで、岩手、宮城、福島で48,000戸の断水が続く。

義援金 2,947億円のうち、被災者に届いたのは2割。

JR・在来線では気仙沼線、大船渡線など7路線で運休続く。

【7月6日現在、陸前高田市の被害状況】

死者数： 1,526人

行方不明者数： 506人

避難者数： 1,563人

避難所数： 44

住宅、建物被害（全壊数＋半壊数）： 3,341

東北大震災で犠牲になられた方に心よりお悔やみ申し上げます。そして被災地の1日も早い復興を願っております。